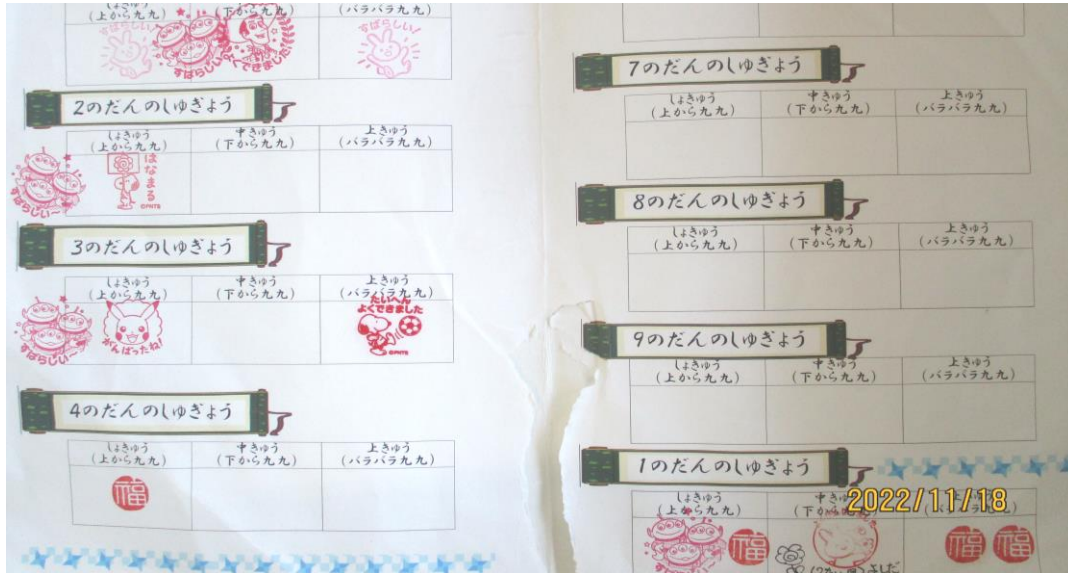




えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.14
令和4年11月18日
文責：校長 福島


かけ算九九 修行の旅



2年生がかけ算九九の学習をしています。かけ算九九は小学校の学習の中でも子供たちが最も興味をもっている学習の一つかもしれません。

2年生では、九九の習得のためにとてもユニークな取組を行っています。「しゅぎょう」と名付けて、校内のいろんな先生に九九を聞いてもらい、合格したらはんこヤシールをもらうのです。誰に聞いてもらうかは自分で決めます。

校長室にもやってきます。「2年〇組の〇〇です。かけ算九九を聞いてもらいに来ました。入ってもいいですか。」「どうぞ。」1人で来る子もいれば、友達と来る子もいます。校長室に来る子はコミュニケーション力が高く、積極的な子が多いと思われるでしょうが、とてもおとなしそうな子もいれば、自信なさそうな子もいます。間違えたり忘れたりする子もいます。そんな子が来てくれることがうれしいです。「完璧です。合格」とはんこを押すときにつこりします。「もう少しだね。練習してまた来ようか。」ちょっと悲しそうな顔で出ていきますが、1分も経たないうちにまた入ってくることもあります。私も子供たちと過ごす時間を楽しみにしています。

2年生の先生とこんな話をする中で、子供たちにとって  のはんこはレアな特別なものであるらしいことを知りました。「明日校長先生に聞いてもらいたいから練習しよう。」という気持ちで九九の練習に取り組む子がいたとしたら、こんなにうれしいことはありません。

学校では、多くの知識や技能を身に付けます。結果として身につけていることは大切ですが、どのようにして身に付けたかが重要です。受け身に与えられたものは消えていきやすいです。自らの意志で獲得したものは生きて働きます。アグレッシブに自分から知識や技能を獲得する授業を私たちはめざしています。

自ら修行し旅に出て自分を高めるその取り組み方が、自分の生き方をつくっていくことにつながると思っています。